

マンガで勉強はアリ？ナシ？

美術班 (理)

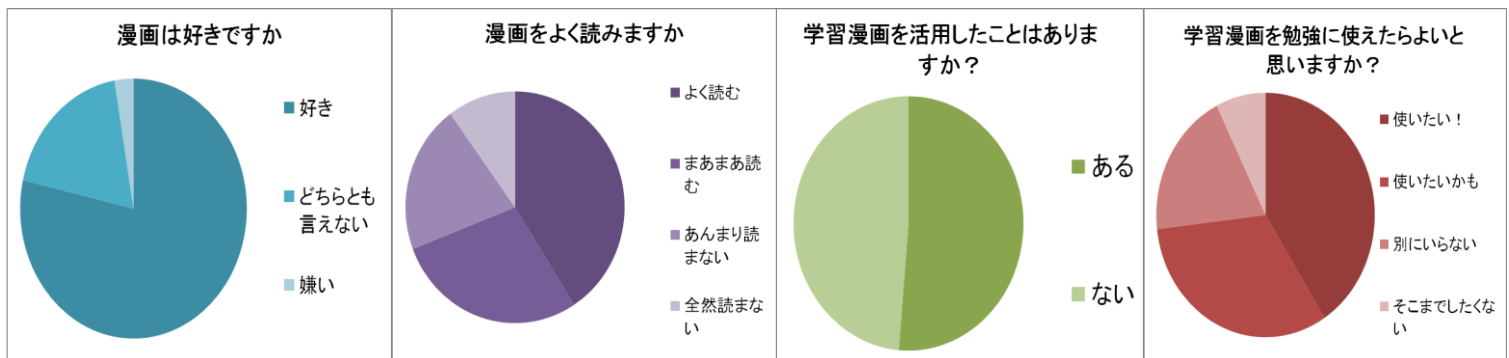
吉岡 志穂 太田 智尋

1. はじめに

日本の多くの若者に親しまれ、今や世界でも注目されているマンガ。なかでも現在中学受験用など、様々な種類が出版され用いられている‘学習マンガ’に注目し、その利点や教科書での学習と差は生じるのか、勉強に向いているのはどちらか、等について研究を行った。

2. 事前調査

事前調査として、高津2年文理学科生のあいだで、マンガがどの程度親しまれているのかを調査した。結果、マンガは大半の生徒になじみがあり、読む頻度の高い生徒が多いこと、学習マンガを利用したことがある人が約半数ほどいることがわかった。しかし、マンガを学習に活用したいかについては、半数以下となり、やや低い傾向がみられた。



3. 研究

今回の実験では、「インカ帝国の歴史」について同じ内容を記載した教科書的文章と学習マンガを用意した。高津高校2年生から数名に協力を要請し、教科書的文章を読んでもらう班と学習マンガを読んでもらう班の二つの班に分け学習してもらい、同じ内容のテストを実施した。なお、題材に「インカ帝国」を選んだのは、文章・マンガそれぞれの教材によって、どの程度理解できどのような差が生じるのかを考察するために、1年次で学習しなかった分野であるものを選択したからである。

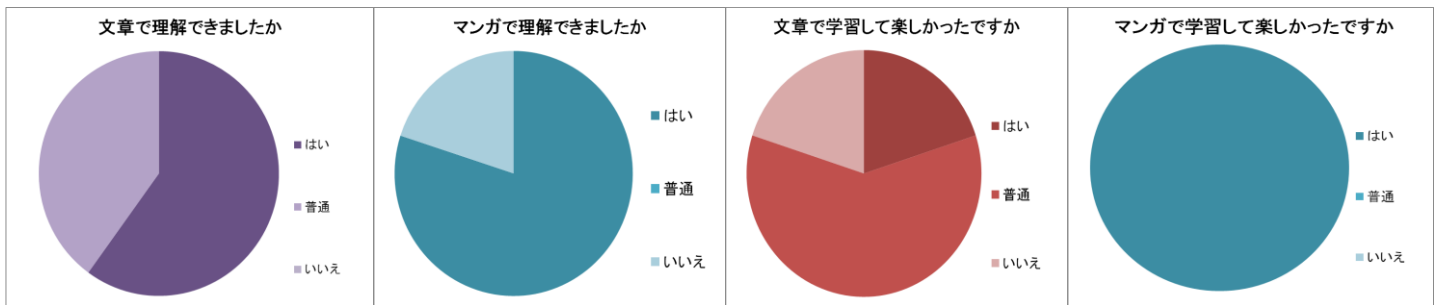
我々は、マンガの方が生徒によく親しまれているので勉強しやすいと考え、教科書よりもマンガで勉強した方が良い結果が出ると予想した。

4. 結果、考察

「インカ帝国の歴史」についてのテストを実施した結果、教科書で勉強した班の方が全体的に点数が高く、平均点も教科書班のほうが5点ほど高かった。

漫画	13	13	12	9	7	10.8
教科書	19	18	17	15	7	15.2

<テスト後のアンケート結果>



漫画班

- ・漫画だと無駄な情報が多くて覚えにくかった。
- ・重要なことより、登場人物の台詞が頭に残ってしまった
- ・楽しく覚えられた。
- ・話の流れは覚えやすかったが、語句は覚えた気になってしまって、覚えられなかった。
- ・マーカーを引く等勉強への応用がしにくい

教科書班

- ・文章がまとまっていて覚えやすかった。
- ・世界史の教科書のように地図などがほしかった。
- ・教科書ではイメージがしにくくて出来事が入ってこなかった。

以上の結果から、教科書班よりも漫画班のほうが点数が低かった要因は、漫画は情報量が多いために肝心の内容が頭に入ってきづらい点だと考えられる。

しかし、漫画で学習して楽しかったという意見が多かったので、楽しく勉強できるという点では教科書よりも漫画のほうが優れているといえる。

よって、教科書と漫画、どちらが圧倒的に優れているとは一概に言えず、学習の導入で漫画を使用して内容を理解してから教科書でもう一度しっかりと理解するというように、双方の利点を生かして勉強すれば、より良い学習ができると思われる。

5. 実験に使用した文献

理論社 インカ帝国のひみつ (まんが世界ふしぎ物語)
著たかし よいち イラスト吉川 豊